



笹中だより

伊丹市立笹原中学校学校通信第9号

平成29年10月31日

編集責任者 校長 太田洋子

11月に入ります。行事での成果を活かし集中して学習しましょう！

早いもので、今年も残すところあと二月になりました。体育大会・文化祭といった大きな行事もすべて終わり、落ち着いて勉強に取り組む時期です。体育大会後、授業中騒がしくなったり、清掃の時に遊ぶ生徒が出てきたりと、学校生活に集中して取り組むことができない人が出てきました。

そこで、10月からは、学年委員・風紀委員が中心となって、「授業規律徹底月間」として、授業の2分前着席や授業中の私語等について点検を行いました。

「先生に言われたからやる」ということでは、自主的な生徒会活動とは言えません。自分たちの学校が快適に過ごせる場になるように、自分たちの力で学校を変えていくことが「自治」の力です。

後期になり、生徒会役員も2年生にバトンタッチされました。新たな気持ちで、笹原中学校をさらに良い学校にするように頑張ってください。

★10月20日（金）に第35回文化祭が開催されました。

今年は、オープニングに、「伊丹わっしょい」で審査員特別賞に輝いた2年生のソーラン隊が「満華鏡」を元気よく披露してくれました。

各学年の合唱では、どのクラスも学級練習でまとまったクラスの団結をしっかりと見せてくれました。11月2日にはいたみホールにおいて、市内の優勝クラスが集まる交歓音楽会が開催されます。1年4組、2年2組の皆さんは笹中の代表として毎日の練習の成果を発揮してもらいたいと思います。

合唱コンクール	1年生	2年生	3年生
金賞	4組	2組	1組
銀賞	2組	4組	4組

午後のステージでは、3名の生徒の英語スピーチ、佛山市での国際交流の報告、放送部のクイズ、そして最後は、吹奏楽部の演奏で楽しいひとときを過ごすことができました。

展示の部でも、美術部、ハンドクラフト部の作品、各学年や教科での学習の成果発表と力作が並びました。



当日の様子は本校のホームページをご覧ください。

●10月27日（金）オープンスクールにおいて、講演会を実施しました

オープンスクールには多くの保護者の皆様にご来場いただきありがとうございました。

この日は、前アイ愛センター所長で、現在は車いすのアスリートとして様々な活動をされている吉野真旨さんを招いて、「認め合う・分かち合う社会をめざして」をテーマに、全校生徒に向けてお話をいただきました。特に印象に残った言葉は「鉛筆型人間を目指そう」でした。



「鉛筆を自分自身に置き換えたとき、真ん中に芯が通っている。まず、義務教育の間に、『自分はどんな人間になりたいか』『何が得意で、何が苦手か』などを考え、しっかり自分と向き合って芯を作ってほしい。鉛筆の周りには、木がある。この『木』を『気』に置き換えて、周りの人に目を向けてほしい。身近な友達がどうしているか、今日は表情が違うなということにも目を向けてほしい。そして、鉛筆には赤、青、黄色などの色がある。その色で、これからの人生という大きな画用紙に色を塗り、自分の未来予想図をはっきり描いてほしい。」

この言葉を生徒たちに伝えて、車いすのマラソン大会に参加するために、九州に向かって出発されました。

●体育大会のご意見（10月号で依頼しました）

- ・組体操での皆さんの声が大きく、とても心がこもっていてすばらしかったです。たくましく成長した皆さんの演技に感動しました。（3年生）
- ・保護者席が広がって見やすかったです。雨天時に、いつに順延になる、代休日が変わるなど月間予定表・年間予定表などに書いていただけるとありがたいです。（2年生）
- ・短期間の練習で、各学年の演技を完成させるのは毎年大変だと思います。頑張っってやり切った生徒たちはもちろん、ご指導くださいました先生方、大変お疲れさまでした。3年生の組体操は、できるだけ正面から演技が見たいのですが、演技が高層になるとテント後方からは見えにくくなります。できれば演技を少し後方に下げたグラウンドやや中央寄りにしていただけるともう少し演技全体が見やすくなると思います。一度ご検討いただけましたらありがたいです。（3年生）

●今回の文化祭に対しての保護者の皆さまのご意見を募集しています。また、今年度も半分が過ぎ、後半に入っています。前期を振り返って、学校に対するご意見もお聞かせください。

下記の用紙にご記入いただき、担任にお渡しいただくか、ファックスで直接学校までお送りいただきますようお願いいたします。（FAX 783-8178）ご意見は来年度に活かしていきます。

----- 切り取り -----
文化祭及び学校へのご意見（よかった点・改善すべき点などご自由にお書きください）

（ ）年生保護者